

831 柔道会大会

〔『法学新報』第34卷12(395)号 大正13年12月5日〕

○柔道会大会 十一月十六日の吉日を選びて例年の如くに吾か

中央大学第十八回柔道大会を母校講堂に於て挙行す昨年の
帝都大震災の厄に遭ふて以来最初の大会とて定刻前に集まる
部員六十有余を算し今日こそはと腕をさすつて勇み立ち外来
選手も吾こそ月桂冠を得んとて続々来る校友高段者席は永岡
師範徳三寶六段小野三段大木四段等を始めとして十数名其の
名斯界に高き人士に依りて満され佐藤理事堀予科長出羽学生
監大松幹事出席し前古未曾有の盛会を呈せり委員の開会之辞
に大会の幕は切り落され午前は校内紅白勝負を以つて終りを
告午後より無段者一本勝負を以て始まる合戦実に五十有余堀
予科長の会長に代りての挨拶あり講道館少年組の模範乱取及
ひ講道館の型に次て有段者一本勝負初段二段参段各取組む無
段者高点勝負、有段者高点勝負等あり龍攘虎博士気大に振ふ
賞品を授与し終て茶菓の饗応あり柔道会万歳を三唱して無事
大会を了す時に七時半校門を出すれば中空に星二つ三つ